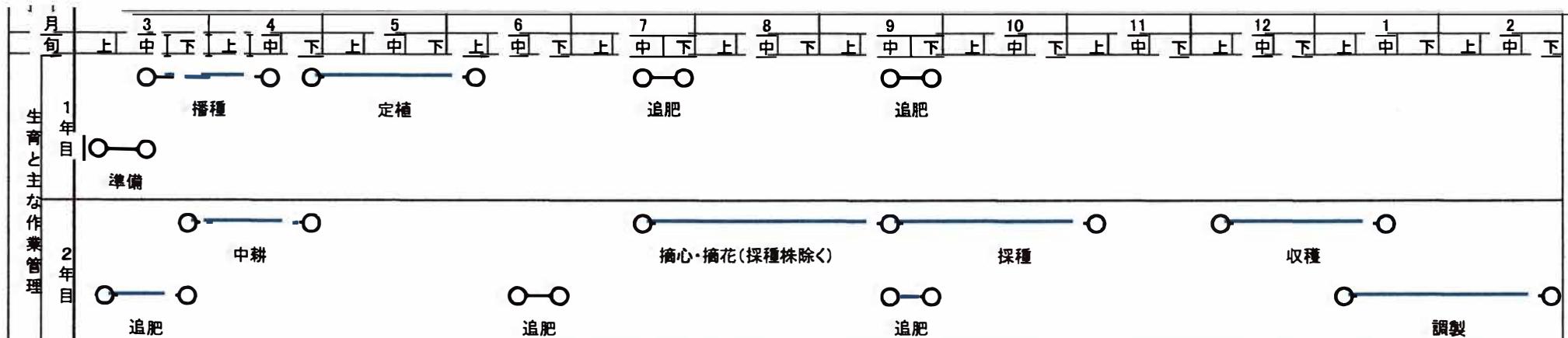


栽培技術体系の構築

—チェーンポットを用いた栽培指針—



作業の内容	○播種	○追肥	○病虫害
	<p>3月中旬～4月中旬 チェーンポット1ポットに種子1粒播き 無加温ハウス内でトンネル被覆し育苗 本葉2～3葉期まで育苗</p> <p>○定植 4月下旬～6月上旬 条間140cm間隔に、幅60cm、高さ20cm程度のベッドを作り、定植する。 移植後は苗に土寄せを行い、乾燥を防止し活着を促す。</p> <p>○施肥 (10a当たり) 基肥：堆肥 1,000～2,000 kg 苦土石灰 50～100 kg 化成肥料 (14-14-14) 35～70 kg IB化成 (10-10-10) 50～100 kg 10a当たりNPK成分量で10kgの施用を指標として、速効性肥料 (化成14-14-14) より緩行性肥料 (IB化成10-10-10) 半量ずつの施用が望ましい。</p>	<p>追肥：1年目1回目 7月中旬～下旬 IB化成肥料 (10-10-10) 50 kg 2回目 9月中旬～下旬 IB化成肥料 (10-10-10) 50 kg</p> <p>2年目1回目 3月上旬～下旬 化成肥料 (14-14-14) 35～70 kg IB化成 (10-10-10) 50～100 kg 2回目 9月中旬～下旬 IB化成肥料 (10-10-10) 50 kg</p> <p>○摘芯・摘花 摘芯は2年目の着蕾期 (6月下旬～) に行う。 地際から60cm～70cmの高さで、ヘッジトリマー等を用いて上部を切除する。2回程度行う。 採種用の株は摘芯を行わない。</p> <p>○管理 薬用栽培に適用のある除草剤が1種類あるが、手取りや機械除草に努める。</p>	<p>主な病害として茎腐病、立枯病、葉枯病、根こぶ線虫病などがある。 害虫としてネキリムシ、ヨトウムシ、ウリ (クロウリ) ハムシなどがある。 キキョウの薬用栽培に登録のある農薬 (殺菌、殺虫、除草剤) は殆どない。 食用キキョウ (根) として、「野菜類」に適用のある農薬は使用が可能であるが、使用にあたっては実需者と協議を行う。</p> <p>○収穫 収穫は2年目の秋12月上旬～翌年1月中旬に行う。地上部を5cm程度残し刈り取り、掘り取り機付きトラクターで掘り取る。</p> <p>○調製・加工 収穫した根は、地上部と側根を切り落とし、太い根1本に切り分けブラシ式高圧洗浄機で洗浄皮むきを行い、温風乾燥機で速やかに乾燥する。 乾燥温度は50°C程度とし、24時間の間断乾燥を3日間程度行う。 乾燥した根は、実需者が求める規格に基づき調製する。 規格例：生薬用根；根径1cm以上、食用根；根径1cm未満 (何れも乾燥根の最も太い部位の径)</p> <p>○収量 生薬根の10a当たり目標収量 80～120 kg (乾燥重量)</p>